



学校報「三中の木」



令和6年1月22日(月)
第18号 文責: 校長 工藤 真弘
TEL: 52-5138

保護者アンケート: 高い回答率(関心)に感謝

今年度の保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。今回はQRコードのみの回答方法にもかかわらず、生徒数277名(258世帯)中226名分という高い割合の回答に、本校学校教育への関心の高さを感じました。昨年度は、紙への記入とQRコードの併用で、272名中162名分、QRコード回答数は120名程度でした。

さて、今回は来年度以降の部活動全員加入制の見直しについての質問項目を保護者、生徒両方に入れました。これらの結果を踏まえ、来年度以降の部活動の在り方の説明会を行いました。

【保護者】

22 部活動地域移行(地域クラブ活動)に向けて、部活動全員加入制は見直していったほうがよい。

	全校	1年	2年	3年
4 (あてはまる)	31	35	26	32
3 (だいたいあてはまる)	37	29	46	35
2 (あまりあてはまらない)	26	32	25	21
1 (あてはまらない)	7	5	4	12
平均値	2.9	2.9	2.9	2.9

【生徒】

22 部活動地域移行(地域クラブ活動)に向けて、部活動全員加入制は見直していったほうがよい。

	全校	1年	2年	3年
4 (あてはまる)	37	30	38	43
3 (だいたいあてはまる)	36	35	33	39
2 (あまりあてはまらない)	18	24	20	9
1 (あてはまらない)	9	10	9	8
平均値	3.0	2.9	3.0	3.2

令和6年度以降の部活動について ～能代二中の部活動の方向性についての説明会を終えて～

市内の各中学校では、今後の部活動地域移行や教職員減等を見据え、部活動の在り方について見直しが進んでおり、本校においても対応が必要な状況になっております。12月のPTA・体育文化後援会三役会で方向性を話し合い、1月17日(水)に標記説明会を行いました。案内をPTA・体文後役員、各部活代表、学年代表の方々に差し上げたところ、20名の参加がありました。ありがとうございました。

1. 部活動全員加入制の見直し

○現在

- ・全員加入を原則としており、地域クラブや習い事に通っている生徒も何らかの部活(生活科学部、陸上部、野球部等)に所属する。

○令和6年4月以降

- ・全員加入としない。ただし、部活動や地域クラブ、習い事等いずれにも参加しない帰宅部生徒となるべく出さない。
- ・加入していない生徒は、放課後は家に帰って勉強してから地域クラブや習い事等に行くなど、時間を計画的に活用する。
- ・総体（郡市予選、県大会）や吹奏楽コンクール、美術展等に参加しない生徒の新規入部は不可。
- ・総体の日はこれまで通り全校出校日になるので、登校や大会応援等をする。

部活動、地域クラブ、習い事も、自分を高めるための目標をもって活動することが大切です。

地域クラブや習い事の他に、福祉ボランティアなど様々な活動があります。どんな活動があるのか、自分に合っているのか、相談しながら決めてほしいと思います。

放課後、時間を有効に使って目的をもった活動ができるようにしましょう。

2. 学級減に伴う教職員減による部活動数の見直し

○今後の学級数と指導者数の見通し

- ・現在、指導者の必要数は19（学校登録が必要なバドミントンも含む）に対し、指導者数は18（季節エントリーのスキーパーを兼）。教頭も担当してカバーしている。
- ・令和8年度（新1年生が中3）になると学校全体の学級が減ることで、部活を担当できる職員が2人減る。令和6年度から見直しを進めていく必要がある。

○令和6年度の方向

- ・生活科学部について、新1年生の募集を停止とし、2、3年生で目的をもった活動を続けたい生徒がいれば、卒業時までは担当を付ける。
- ・ソフトボール部については、R6からクラブ移行の予定だが、現在の1年生が3年生になるR7までは平日の担当者をつける予定。
- ・次の平成26年度の部活動見直しについての内規を引き続き適用しながら、原則1については地域移行の進度も考慮して対応を検討。

本校チームとしての編成が困難な部の取り扱いについて（平成26年度内規）

原則1 野球部・ソフトボール部・バレーボー部・バスケットボール部において、秋季大会から5大会（秋・春・夏・秋・春）、単独チームが作れない状態が続いた場合は、部員の募集を停止し、所属部員の卒業や転部により部員数が0になった時点で休部とする。

原則2 卓球部・ソフトテニス部においては、男女どちらかが部員不足で団体チームが組めない（卓球6人未満、ソフトテニス4人未満）場合は、男女で「卓球部」「ソフトテニス部」として統合し活動する。

原則3 ソフトテニスは5大会続けてペアが作れない場合、部員の募集を停止し、所属部員の卒業や転部により部員数が0になった時点で休部とする。

原則4 水泳・体操はサンフルト（及びグラント）で活動している生徒のみ入部を認める。二中職員の指導体制は取らない。